



# 平成21年第4回定例会

## 条例改正、一般会計補正予算など24議案を可決決定、議会改革検討委員会を設置

第4回定例会議は11月30日から12月17日までの18日間の日程で開催されました。市長からは条例の改正など11議案、消防委託料増額分などを追加した2009年度一般会計補正予算など13議案が上程され原案通り可決しました。また、議員提出議案で市議会会議規則の一部を改正し、議会改革検討委員会を設置しました。

### 審議結果

可決、承認、認定された議案は次のとおり

- ◆市職員の給与に関する条例の一部改正
- ◆市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
- ◆塩原生活改善センター条例の一部改正
- ◆わらべ工房条例の一部改正
- ◆市農業共済条例を廃止する条例
- ◆市道路占用料徴収条例の一部改正
- ◆桐生市とみどり市との間
- ◆市職員の給与に関する条例の一部改正
- ◆市農業共済事業における農作物（水稲及び麦）、畑作物（蚕繭）並びに園芸施設の無事戻金
- ◆塩原生活改善センター条例の一部改正
- ◆平成21年度一般会計補正予算（常備消防委託料の増額、非課税世帯者等に新型インフルエンザ助成金等）
- ◆市道路占用料徴収条例の一部改正
- ◆同鉄道経営対策事業特別会計補正予算
- ◆同国民健康保険（事業勘
- ◆市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
- ◆畑作物（蚕繭）並びに園芸施設の無事戻金
- ◆農作物（水稲及び麦）、畑作物（蚕繭）並びに園芸施設の無事戻金
- ◆同国民健康保険（診療所勘定）特別会計補正予算
- ◆同介護保険（介護サービ定）特別会計補正予算
- ◆同介護保険（介護サービ定）特別会計補正予算
- ◆同戸別浄化槽事業特別会計補正予算
- ◆同農業集落排水事業特別会計補正予算
- ◆同下水道事業特別会計補正予算
- ◆同富弘美術館事業特別会計補正予算
- ◆同競艇事業特別会計補正

における農業共済事務の委託の廃止

◆市農業共済事業の廃止に伴う財産処分

◆市農業共済事業における農作物（水稲及び麦）、畑作物（蚕繭）並びに園芸施設の無事戻金

◆損害賠償の額の決定

◆平成21年度一般会計補正予算（常備消防委託料の増額、非課税世帯者等に新型インフルエンザ助成金等）

◆同鉄道経営対策事業特別会計補正予算

◆同国民健康保険（事業勘

定）特別会計補正予算

◆同国民健康保険（診療所勘定）特別会計補正予算

◆同介護保険（介護サービ定）特別会計補正予算

◆同介護保険（介護サービ定）特別会計補正予算

◆同戸別浄化槽事業特別会計補正予算

◆同農業集落排水事業特別会計補正予算

◆同下水道事業特別会計補正予算

◆同富弘美術館事業特別会計補正予算

◆同競艇事業特別会計補正

予算

◆同水道事業会計補正予算

◆同農業共済事業会計補正予算

◆農業共済事業の廃止に伴う財産処分

### 議員提出議案

◆みどり市議会会議規則の一部を改正する規則について（議会の政策提言・立案機能の強化、議会審議の活性化及び議会活動の透明性向上の方策等を協議、検討するため）

◆「日米地位協定に関わる『裁判権放棄』の密約の公表と廃棄を求める意見書」の採択を求める請願書

### 請願

◆「日本への核持ち込みを認めた『核密約』の公表と廃棄を求める意見書」の採択を求める請願書

◆「日本への核持ち込みを認めた『核密約』の公表と廃棄を求める意見書」の採択を求める請願書

◆「日本への核持ち込みを認めた『核密約』の公表と廃棄を求める意見書」の採択を求める請願書

◆「日本への核持ち込みを認めた『核密約』の公表と廃棄を求める意見書」の採択を求める請願書

◆「日本への核持ち込みを認めた『核密約』の公表と廃棄を求める意見書」の採択を求める請願書

◆核兵器の廃絶と恒久平和

を求める決議、ならびに意見書採択についての請願

願

◆全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める請願書

◆後期高齢者医療制度の即時廃止を政府に求める請願書

◆不採択

◆現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書

◆不採択

◆社会的セーフティネットの拡充を求める意見書採択についての請願

◆継続審査

### 意見書の要旨

日米地位協定に関わる「裁判権放棄」密約の公表と廃棄を求める意見書

在日米軍基地に所属する米国兵士の犯罪による被害が後を絶たない。

日米地位協定の前身である「行政協定」が1953

平成21年度 各会計の補正状況(12月補正)

一般会計	補正額	7480万9千円
	補正後の予算額	183億3520万5千円
鉄道経営対策事業特別会計	補正額	4400万0千円
	補正後の予算額	1億4964万2千円
国民健康保険(事業勘定)特別会計	補正額	0千円
	補正後の予算額	57億6067万4千円
国民健康保険(診療所勘定)特別会計	補正額	0千円
	補正後の予算額	1億9818万4千円
老人保健特別会計	補正額	0千円
	補正後の予算額	7102万4千円
後期高齢者医療特別会計	補正額	0千円
	補正後の予算額	4億0815万3千円
介護保険(保険事業勘定)特別会計	補正額	△54万5千円
	補正後の予算額	29億8294万4千円
介護保険(介護サービス事業勘定)特別会計	補正額	△150万0千円
	補正後の予算額	1618万7千円
戸別浄化槽事業特別会計	補正額	△1055万0千円
	補正後の予算額	2445万0千円
簡易水道事業特別会計	補正額	0千円
	補正後の予算額	8494万2千円
農業集落排水事業特別会計	補正額	0千円
	補正後の予算額	7251万5千円
下水道事業特別会計	補正額	△2700万0千円
	補正後の予算額	12億0156万4千円
富弘美術館事業特別会計	補正額	△596万4千円
	補正後の予算額	3億8410万5千円
競艇事業特別会計	補正額	0千円
	補正後の予算額	689億8993万1千円
水道事業会計	補正額	780万0千円
	補正後の予算額	16億5070万9千円
農業共済事業会計	補正額	135万3千円
	補正後の予算額	2億5421万1千円
国民宿舎事業会計	補正額	0千円
	補正後の予算額	3億0737万8千円

(△は減額を示す)

年に改定されたとき、日米間に密約が交わされ現在に至っている。この結果、わが国における米兵刑法犯の不起訴率は高く、国民の生命、財産、生活の安全に保障がないのも同然である。

この密約文書は米国立公文書館解禁文書で公開されている。

政府に対し、即時調査と結果の公表、密約の廃棄を求めると約束した。

歴代内閣は核兵器の持ち込みは一切なかったという態度をとってきた。

核兵器を積んで日本の港湾、空港に立ち寄ることは「持ち込み」でなく「通過・立ち寄り」との討論記録

の形で「密約」が調印されている。

政府に対し、早急な調査と密約の即時公表と廃棄、非核三原則を厳格に守ることを求める。

電源立地地域対策交付金の(水力交付金)は施設周辺の地域住民の福祉の向上と電源立地の円滑化を目的としており、関係市町村では、防火水槽や防災無線等の整備、診療所や保育園の運営費等への充当による住民生活の利便性向上を図っている。

国においては、平成22年度末をもって多くの関係市町村で交付期限を迎える水力交付金について、過去30年間にわたる交付実績や今後とも安定的な水力発電を維持する必要性があること等を考慮のうえ、平成23年度以降は恒久的な制度とすること、原子力発電交付金との格差を踏まえた交付金の最高限度額および最低保証額の引き上げなど、交付条件の改善や事務手続きの簡素化を図ることを要望する。

2 核拡散防止条約(NPT)

政府に対し、被爆65周年を迎える2010年に開かれる核拡散防止条約再検討会議に向けて、核軍縮・不拡散外交に強力に取り組むことを要請する。

1 国是である非核三原則を堅持し、平和市長会議が提唱する2020年までに核兵器の廃絶を目指す「2020ビジョン」を支持し、実現に向けて取り組むこと。

核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書

ノーモア・ヒロシマ、ノーモア・ナガサキ、ノーモア・ヒバクシャ。この訴えは、私たち被爆国民の心からの叫びである。

核兵器は未だに世界に約2万1千発も存在し、核兵器の脅威から今なお人類は解放されていない。

政府に対し、被爆65周年を迎える2010年に開かれる核拡散防止条約再検討会議に向けて、核軍縮・不拡散外交に強力に取り組むことを要請する。

1 国是である非核三原則を堅持し、平和市長会議が提唱する2020年までに核兵器の廃絶を目指す「2020ビジョン」を支持し、実現に向けて取り組むこと。

2 核拡散防止条約(NPT)

## 水道事業の不祥事に 関する調査特別委員会

当委員会は、みどり市の水道事業において、度重なる不祥事が発生したことを受け、先の6月定例会において、議長を除く全議員21名で設置された。事件の解明と失われた市民への信頼を回復するため、また、再発防止策を求めて、調査検討を行った。

調査報告書作成にいたるまで、幹事会を含め述べ12回開催した。委員会を開催のたびに問題点、疑問点が出され、その都度、水道局に資料提供を求め、最終的に30項目に及ぶ膨大な資料となった。それらを全て慎重に検討し、調査を行った。水道庁舎は、他の庁舎に比べ市民や職員との交流が少なく、孤立的な環境がうかがえた。不祥事の背景の一つには、閉鎖的組織によるところも多く思われ、4庁舎のあり方を含め、組織機構および人事配置を検討すべきと指摘した。また、職員の意識改革の

必要性や入札制度についても更なる制度改善を求め、設計段階での積算精度を高める必要があるとした。

不祥事を起こした職員の間では、私生活での金銭的課題と関連業者との癒着が大きな要因であった。当然のことだが、関連業者に対して、接待や金品の要求をしないこと。また、絶対に受け取らないこと。職員と職場内で深く認識し反省すべきであると強く指摘。

このような調査結果から公務員としての自覚を促し公務員に対して市民からの信頼確保を図るために、抑止・防止策として「職員倫理条例」、「公益通報者保護条例」の早期制定を要求した。これらに並行して、市長ならびに市議会議員の倫理条例の制定にも取り組むべきと考える。

最後に、市民のために安心安全かつ、おいしい水を供給することが使命であることを真摯に受け止め、川口川からの適法な増量取水の実現に努力し、市民から信頼される水道事業でなく

てはならないと結論づける。

## 総務文教 常任委員会

### 付託された請願

請願第28号 「日米地位協定に関する『裁判権放棄の密約』の公表と廃棄を求め意見書」の採託を求め請願書について  
請願第29号 「日本への核持込を認めた『核密約』の公表と廃棄を求め意見書」の採託を求め請願書について  
請願第32号 核兵器の廃絶と恒久平和を求め決議、ならびに意見書採託についての請願について

### 審査結果

本委員会は、12月15日委員全員出席のもと開催。請願第28号では、密約した文書をなくしたとか燃やしたとか出ているようだが、米国では公文書館解禁文書で公開されている。賛成多数で可決すべきものと決定。請願第29号では、国防を考えたとき、ある程度機密文書があってもしかりと思う

が、平和委員会の方々の考えは、日本は世界で唯一の被爆国であり憲法第9条で戦争放棄をうたい、国防を基に核を持ち込んで良いことには繋がらないと思う。賛成多数で可決すべきものと決定。請願第32号では、特に意見もなく賛成全員で可決すべきものと決定。

### 行政視察

平成21年10月5日から7日まで実施。

### 視察地 広島県呉市

目的 小中一貫教育について

呉市では義務教育9年間で修了するにふさわしい学力と社会性を目的に、小中一貫教育を進めている。義務教育9年間を「前期」1年から4年「中期」、5、6年と中学1年「後期」2、3年に区分している。小学5、6年に一部教科担任制を導入して、指導内容や指導方法を工夫したり、中教員がその専門性を生かし、小学校で充実した授業を展開していた。

### 視察地 山口県柳井市

目的 柳井ニューデール

について

柳井市では、本年3月に井原健太郎市長（35歳）から、選挙で掲げた「柳井ニューデール」について説明を受けた。今後取り組みとする方針で、市政への参画、仕組み作り、資源の有効活用、柳井市で暮らす「幸せ」を実現するための8つの公約のことである。「市民と市長と気楽にトーク」はとても重要である。

## 民生福祉 常任委員会

### 付託された請願

請願第26号 全額国庫負担の「最低保障年金制度」創設を政府に求める請願  
請願第27号 後期高齢者医療制度の即時廃止を求める請願

請願第30号 現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書の提出を求める請願  
請願第31号 社会的セーフティーネットの拡充を求める意見書の採託について

## の請願 審査結果

第26号 財源確保が難しく公平感に欠ける等の意見があり不採択とした。

第27号 即時廃止としても変わる制度がない等の意見があり、不採択とした。

第30号 都市と地方では事情が違う。主旨不透明等の意見があり不採択とした。

第31号 近隣の状況を確認すべきだとして継続審査とした。

## 行政視察

平成21年10月13日から15日まで実施。

## 視察地

香川県土庄町土庄中央病院  
目的 優良病院経営とへき地医療へのかかわりについて

平成19年に自治体立優良病院として総務大臣表彰を受賞。院長は、へき地医療貢献者表彰を受賞している。年間800件の在宅医療と週4回、無医地区に巡回診療を行っている。

## 視察地

観音寺市三豊総合病院  
目的 総合病院の運営と市



▲三豊総合病院

民の健康づくりについて

平成7年に自治体立優良病院として自治大臣表彰を受賞しており、毎年黒字経営を続けている。救急医療では365日、24時間受け入れる方針とのこと。

また、保健福祉総合施設「すこやか」と介護老人保健施設「わたつみ苑」を併設し、市民の健康づくりに取り組んでいる。

## 視察地

今治市総合福祉センター  
目的 ボランティアセンターの活動について

登録数は95団体4976名。ボランティア入門スクールや研修会、子育て支援講座など活発に行っている。

## 経済建設 常任委員会

### 付託された議案

第107号 塩原生活改善センター条例の一部を改正する条例について

第108号 わらべ工房条例の一部を改正する条例について

第109号 みどり市農業共済条例を廃止する等の条例について

第110号 みどり市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例について

第111号 桐生市とみどり市との間における農業共済事務の委託廃止について

第113号 平成21年度みどり市農業共済事業における農作物（水稻及び麦）、畑作物（蚕繭）並びに園芸施設の無事戻金に

第114号 損害賠償の額の決定について

第128号 みどり市農業共済事業の廃止に伴う財産処分について

## 審査結果

本委員会は、12月14日委員全員と関係部局出席のもと細部にわたる説明を受け審査を行った。

第107号では、今後のあり方について質問があり、現在の農林課から民間等の委託を考えているとのこと

第108号、第110号、第111号、第113号、第114号については、質疑もなく、可決すべきものと決定。

第109号は農家を守ってきた重要な財産なので、議決を経た上で、処分を行うよう県から指導を受けているとの説明があり、可決すべきものと決定。

第128号の廃止に伴う財産処分は、群馬県農業共済組合に帰属するなどの説明を受け、可決すべきものと決定。

## 行政視察

平成21年9月29日から10月1日まで実施

## 視察地

青森県八戸市および岩手県北上市

目的 八戸市における中心市街地活性化、都市計画マスタープランについて

商店街は、空き店舗が増え、歩行者の通行量や居住者も減少し、賑わいを失いつつある現状に対し、都市機能がコンパクトに集積した、歩いて暮らせる生活の実現のため、官民一体となって取り組んでいる。マスタープランは、市民の意見を反映した「えがお」を生み出す都市をめざしている。

視察地 ポートピアなんぶ  
目的 現状と課題について

売上も客単価も下がって、厳しい状況の中、建物の外装など来場促進策を講じている。

## 視察地 岩手県北上市

目的 企業誘致について  
工業団地内に工場を新設した場合など県と連携し、三つの優遇制度を創設し、企業からの相談に、100%対応する体制を市長を先頭に9名の職員を配置している。

## Q 魅力ある都市公園整備を

## A 積極的な整備をしたい

椎名 祐司 議員



まずは「夜間動物医療センター」を開設するほうが急務であると思われるが。

**市長** いきなり高度緊急医療センターというようにはいかないと思っている。取り急ぎ、夜間救急医療から始めていくための準備室を設置し、その中で将来的には、ペット産業全体の底上げや日本の夜間救急医療のスタンダードを作っていくたい。

**高津戸地区残土置場問題**

**問** 残土置場(約1万2000㎡)の跡地利用計画は、**都市建設部長** 現在、白紙状態である。

**椎名** 地域からも市長に要望書が出されているので、跡地計画については地元住民を入れた委員会等を立ち上げ、地域の声を生かした公園整備を要望したい。

**市長** 特に高津戸地区の皆さんは、要害山も含め一体的なボランティア作業やま

ちづくりなどを熱心にしていただいていることから、地域の人も連携をとりながらまちづくりをしていきたいと思っている。

**問** 魅力ある都市計画公園として、ながめ公園、要害山、高津戸川久保地区を一体的に整備することにより、

人々が憩い、年間を通した観光ゾーンとしての広がりを見せることができるようになると思われるが。

**市長** この地域の整備については都市計画マスタープランの方針とも整合してあるので、公園の機能を考えた場合には、積極的な整備をしたいと考えている。

**その他の質問**

○みどり市子ども読書活動推進計画策定について  
○子ども司書講座について

## Q 補助事業見直し結果の活用は

## A 答申を尊重するも、決定は市長

山口 慶一 議員



対象外6件、振替9件、保留71件、廃止26件、段階的廃止6件、縮小43件、統合8件という答申がされたが、審査はどのように行われ、その結果の活用はどうするのか。

**市長公室長** 審議会は、7名の委員に審議をお願いした。庁内に補助金検討会を作り、事業の洗い出しを行い調査にまとめ、市長に報

告して市長から第三者機関の検討審議会に提出した。審議会では庁内検討会、議で調査票にまとめたものを、金額の多い順に補助金の担当課から内容説明を行い、必要に応じ各団体の決算書・事業活動報告書など事業がわかるものを審議会に提出して審議委員会が審

議した。今回の補助金の見直しは一応3年ということ



▲高津戸地区残土置場

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



小内 信一 議員

## Q 耕作放棄地の現状と対策は A 対策協議会を立ち上げたい

で、審議委員会が答申を出した。全て決定ではなく、決定は全て市長だ。基本的には平成21年度に中間答申が出たものについては平成21年度に反映させ、今回最終答申が出たので残ったものについて平成22年度当初予算に答申を尊重して活かすことが基本になっている。市長 委員会の最終答申書については尊重するが、最終的判断はしたいと思ってる。しかしながら時代の変遷や世の中の仕組みが変わる中で、改良すべき点はあるのかと思っており、今

問 みどり市内の耕作放棄地の現状と対策は。  
産業観光部長 昨年度の調査では市内の耕作放棄地は約34ha今年度は約36haとなっている。年々増加する傾向だ。対策としては今年度に地域耕作放棄地対策協議会を立ち上げたい。追跡調



▲財政状況説明会

ていき、誰から言われても基準が明確になるよう対応していきたい。

問 借や所有者意向調査、賃貸を勧めるなどの試験的な耕作放棄地解消策を行っている。  
問 農地、宅地の苦情処理件数と枯れ草の火災予防の指導状況は。  
産業観光部長 農地の苦情は平成21年度36件で、雑草

・雑木が28件、害虫4件、その他4件。  
民生部長 宅地の苦情は平成21年度で、雑草繁茂26件、害虫17件、不法投棄が9件。  
総務部長 消防事業については桐生市に委託し火災予防条例が適用されている。今年度は11月に実施し、みどり市内24ヶ所を調査して4ヶ所の地権者に指導した。  
問 耕作放棄地も年々増加し苦情も現時点で103件もある。なんらかの対策をと思ひ、今、家庭菜園ブームなので整地して貸し出しはどうか。  
産業観光部長 みどり市内ではJAみどり農協で116区画と浅原体験村で110区画の貸し農園がある。地主さんと協議して利用者の組織ができれば応援をしていきたい。

問 家庭菜園が発展して直売をしたい。地域の消費者は新鮮でおいしい野菜がほしい。生産者は農協の協販に乗らない物を売りたい。この様な要望のためにネットワークの指導をしてはどうか。

産業観光部長 今、農産物直売所は利用者が多く評判がよい。みどり市では東町で地域の生産者による直売所がある。  
農産物の販売については安全性が問われるので、農協などの専門的な指導を受けながら進めたい。  
小内 資料の内訳をみると、復元困難な土地はゼロだ。少し手を加えれば復元できる農地が大半である。ぜひとも、早急な解消策をお願いしたい。



▲耕作放棄地

## Q 市長マニフェスト評価は

### A 現時点で73%とする

古田島 和茂 議員



**問** 任期が迫る中、その達成度の自己評価、反省点、新マニフェストは。

**市長** 現時点で一部実行まで含めると自己評価では90点。第三者機関にも評価いただききたい。反省点では、タウンミーティングなど市民の皆様に興味を持たせるものとすべきであった。新たなマニフェストに関し、9の基本施策と60項目の具体策を作成した。キーワードは持続可能であり、ソフト面に力を入れたものである。

**平成22年度予算編成**  
**問** 現状での経済状況、国

の事業見直しなどを踏まえた中で、次年度予算編成は苦慮するものと思われるが、**総務部長** 国の動向が見えていない。情報を早くつかまなければ、情報においても数億の減収が予想される。予算は前年並みとするが、必要な事業は遂行しなければならぬ。財政調整基金などで対応していく。

**問** 経常収支比率9割を超える中で、市民の皆様の付託に応えられる財政運営が求められるが。

**市長** 市民の生活に悪影響を与えないよう生活者を最優先とし、福祉分野など持続可能なものとする。

**東町巡回バス**  
**問** 東町巡回バスは見直す時期である。市としても検討しているはずだがその内容は。

**市長公室長** 現運行状況では経費1500万円かかっている。バス1台を削減し

替わりとして町内の人が利用できるグループ28の組織の活用を図るが、このままでは利用者にかかりの負担がかかる。差額を市で補助し町内どこでも300円で利用できる方法を考える。

**問** ドア・ツー・ドアと考えて良いのか。

## Q 10年後10億円の減収計画的な人件費の削減を A あらゆることをやればできる

坂本 正幸 議員



**問** 平成28年から5年間で交付税が見直され、約10億円減額。景気低迷による税

**市長公室長** 時間予約制としたい。運転手の確保を早急にするが観光客をどうするかが課題である。

**古田島** 観光客ということであれば、経営難が取り沙汰されているサンレイク草木の5台のバスの有効利用を視野に入れるべき。雇用の観点からも検討すべきである。



▲東町巡回バス

収減は2億から4億円。現状の経済状況では10年後単年度で13億円以上の収入減が予想される。仮の積算であるが、職員の160人から180人の人件費にあたる。合併後の職員数は交付税の一本算定までに大幅な削減を計画的に実施すべきとして合意されていた。住民福祉サービスの維持・向上を図るうえでも今後の方

針を聞きたい。  
**市長** 交付税がザックリ10億円減額されることはわかっている。職員の削減はもちろん、配置、やる気、民間委託などありとあらゆることをやる。やればできると思っている。

**問** 合併前、旧東村において4年間で20%以上の職員を削減し四十数名で行政事務と合併事務を両立してき

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



杉山 英行 議員

## Q 県道側溝排水の現状は A 農地・道路に冠水している

た。今後税収の落ち込み、交付税削減が平成28年より決定している中、職員の定数減は避けて通れないところにきている。5年後10年後の計画的な考えはあるか。

**市長公室長** 行政事務が複雑多岐になっているため簡単に職員削減とはいかない。行政評価システム、人事評価システムを取り入れ、優秀な職員の育成に努め、平成28年の一本算定までに危機がこないよう職員一同頑張る。

**デマンドバス事業と有償移送サービス事業の比較**

**問** 利用者の利便性と利用者負担の比較は。

**市長公室長** デマンドバスは年中無休、朝8時30分から夕方6時30分まで。朝、電話をかければバス停から誰でも利用できる。料金は町内300円、隣町まで400円。黒保根・東町移送サービスは祝日を除く月曜から金曜、朝8時から夕方6時まで。発着地が黒保根町か東町。利用者は登録が必要。料金は300円で、

10kmを超えると1000円、25kmでは2000円と利便性、利用者負担において大きな差がある。

**坂本** 例えば東町から恵愛堂病院に通院した場合、往復2000円から4000円の負担になる。6月議会で格差があるなら何らかの手立てを検討するとの答弁があった。福祉タクシー券の適用方法を含め、この地域に適した格差のない公共交通手段を早急に確立していただきたい。

議となつている。

**問** 今年度中の再開は。

**都市建設部長** 民地に排水されているので三者の協議を再開したい。また、再開に向けて努力する。

**問** 調整池の設置についての来年度計画は、県の費用負担も求める考えは。

**都市建設部長** 排水対策として水路改修、調整池設置が望ましいが、地権者の同意が難しいことや流入個所の衛生上の問題、三者の負担割合を協議する問題がある。

**問** 市単独で調整池を来年度に設置の計画は。

**都市建設部長** 流入個所の諸問題を解消することが先で、三者協議を再開したい。

**問** 側溝排水は関係者に協議は無い。早急に設置を。

**都市建設部長** 早急に調整池の設置に向けて努力する。

**問** 今後の計画として道路用地として買収することは。

**都市建設部長** できるだけ早い時期に三者協議を進める。排水路、道路の地権者の同意を得る努力をする。

**問** 笠小の学校規模適正化

の教育委員会の取り組みは。

**教育部長** 県下一の大規模校である。平成21年10月に基本方針（中間まとめ）が出て最終的に解決策として新たに学校を新設して笠小を分離することで進める。

**問** 学校規模適正化準備室（仮称）の考えが示されたが。

**教育部長** 地区委員会設置、広範な業務の専門部署として新年度に向けて体制を組みたい。

**問** 建設準備の基金等は。 **教育部長** 義務教育整備基金、合併特例債等を検討。

**問** 県道大間々・世良田線の側溝排水の現状は。

**都市建設部長** 雨水および湧き水が集中する地形で、許容流量を超える場合は、低地の農地と道路に冠水していることは承知している。

**問** 個人の出し合いの水路は登記・公図上で公共物の位置付けはされているか。

**都市建設部長** 農地の中に公共物としての確保はしていない。

**問** 桐生市、みどり市と土木事務所の三者協議の経過について。

**都市建設部長** 行政問題懇談会で取り上げられ、排水対策で調整池設置、用地買収などの検討を行い継続協



▲県道側溝

# Q 税の重複月についての配慮が出来ないか A 条件など確認し検討する

宮崎 武 議員



で検討していく。

**問** 職員の市民に対する対応について様々な声を聞く。以前に要望していた対応マニュアルの進展は。  
**総務部長** 庁舎内のイントラなどで流しているが、声がある以上再度検討して善処したい。

**問** 補助金の見直し廃止などはどうするのか。  
**市長公室長** 検討委員会の決定はあるが、残すべきものは残す方針だ。

**問** 市長マニフェストの達成度について確認したい。  
**市長** 自己評価では達成できたものの、着手しているものを含めると90%ほどか。

**問** 未達成はどうするのか。  
**市長** 継続して達成することを目指す。

**宮崎** 市民にとってのマニフェスト。最後までしっかりと取り組んでいくことが大事。  
**問** 西鹿田産業廃棄物不法

投棄現場については、当時の区長が、再三に渡り搬入阻止の願いをしていたにもかかわらず放置し、約26万tの産業廃棄物を不法に投棄された。群馬県でも例の無い現場。住民運動の結果、現在までの搬出となつているが、このところ、動き

があるようだが、その後の進展も合わせて状況を確認したい。

**民生部長** 産業廃棄物の問題は県の所管となる。確認をしたところ、土地所有者が、数百万円の費用の捻出ができ、残ってしまった部分の撤去を行っている。ともかく現場も含め注視する中、進めていきたい。  
**宮崎** 以前から建物の撤去を含めた完全撤去を求めている。最後までしっかりと取



▲産業廃棄物の不法投棄現場

り組むよう強く要望する。

# Q わたらせ渓谷鐵道の経営姿勢は

# A 頑張つて欲しいと思う

荻野 忠 議員



なければ税金で補えばよいという、行政的発想が伺えるが。

**市長** 経営に予断を許す状態ではないのは分かっている。安易に税金投入しようとは思っていない。

**問** 平成19年に3年計画で赤字削減のための修正経営計画を立てた。目標が達成できない場合、市長は決断をすと言っていたが。

**市長** 目標は達成できなかった。どうにもならない状況であれば厳しい決断をしなければと思っていたが、今は頑張つて欲しいと思う。  
**問** 事務効率等を考え、平成20年に本社を大間々駅舎に移すと答弁していたが。  
**市長公室長** 老朽化も進み、耐震基準を考えると膨大な費用がかかるので、凍結している。

**問** わ鐵から提示される再生計画や赤字削減目標額に信憑性が無過ぎる。足ら

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



原田 好雄 議員

## Q 笠小分離はゴーサインか A 地域の意見を聞きたい

**問** ようやく教育委員会は笠小の大規模化は、分離新設が適切だと結論づけたが、市長の政治的判断は。  
**市長** 教育委員会の決定を尊重したい。  
**問** ゴーサインと判断してよいか。  
**市長** やりましょうではない。

**問** ようやく教育委員会は笠小の大規模化は、分離新設が適切だと結論づけたが、市長の政治的判断は。  
**市長** 教育委員会の決定を尊重したい。  
**問** ゴーサインと判断してよいか。  
**市長** やりましょうではない。

**問** ようやく教育委員会は笠小の大規模化は、分離新設が適切だと結論づけたが、市長の政治的判断は。  
**市長** 教育委員会の決定を尊重したい。  
**問** ゴーサインと判断してよいか。  
**市長** やりましょうではない。



▲旧社会体育館

**問** 「真の鉄道経営者がいない」のでは。存続させたいのであれば、経営陣は長期的な経営計画、たとえば、これからの10年間で車両の入れ替えや、設備機材の更新、維持管理費などを含めて、どのくらいの金額が必要なのか示すべきでは。また、災害を想定して、災害時のための基金の積み立ても必要では。  
**市長** 優秀な企業経営者も役員になっている。県からの天降りポストとは思っていない。理解を得られる鉄道経営を模索している。

**○その他の質問**  
○動物高度医療の取り組み状況  
○組織機構改革の効果  
○出馬表明とまちづくりのビジョン  
○石原市政の自己評価度  
○電話でバス導入後の検証と苦情対策  
○環境対策の一環として、3台の車両購入のうち1台をLPG車にした結果、燃費は約30%、CO2は約13%削減できる。なぜ、4台目の購入車両がガソリン車なのか。  
○車椅子対応車両の課題

わたらせ渓谷鐵道の推移

(万円)

		平成 10 年度	平成 15 年度	平成 20 年度
基金の推移	第1基金	4億8202	368	0
	第2基金	4億0007	6億0014	2億7832
	第3基金	4305	4143	3718

**総務部長** 平成27年度内に事業を完了させなくてはならないと認識している。  
**問** 平成23年度には学級数増加が予想されるため旧社会体育館を壊してプレハブ教室を増設するというが、プレハブ対応の期間をなるべく短くなるよう望むが。  
**市長** 建設的意見を出し合える場を早急に指示したい。  
**人事評価で給与に格差**  
**問** 人事評価制度を取り入れたというのがその内容は。  
**市長公室長** 職員が削減されるなかで、より効率的な行政運営、行政改革を進める上で焦点となる部分だ。

今年度から5ヶ年計画で意識改革、職場環境の改善などに取り組みながら制度の本格的な実施をめざす。  
**問** とかく、役所の仕事はやってもやらなくても処遇は同じといわれる。職員間格差はつけるのか。  
**市長公室長** 人事評価などで能力評価もする。研修などで能力開発をしながら、評価によって給与も変える。  
**問** 行政と市民の協働で市民サービスが高まる意味で、体育協会の法人化やボランティアへの支援の問題がある。  
**教育部長** 行政が進めるスポーツ振興の中には、体協に事業の運営をしてもらうことが互いに有益だと認識している。これらを行政側が団体と時間をかけながら構築できたらと考える。  
**民生部長** 現在ボランティアは福祉を中心に社会福祉協議会で活動している。ボランティアセンター構築をして、あらゆる行政、福祉に必要とされるボランティア事業の展開と支援ができるように準備段階。

## Q 医療・介護への税金負担。減らす考えは

### A そういったことが可能であれば、願ったり叶ったり

鍋木 豊 議員



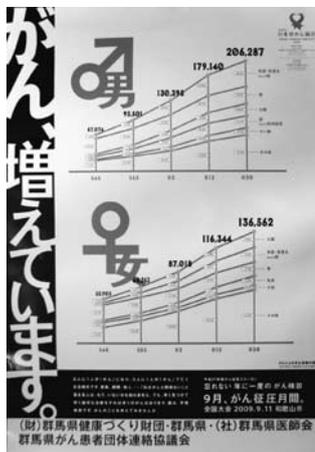
患の患者は1810人。医療給付費の負担は1人当たり20万3150円で前年比4・7%増、被保険者1人当たりの医療給付費は平成21年11月末現在で1人当たり12万8846円で前年比8・8%の増額となっている。

また、介護認定者数は平成20年度で1695人。介護給付費は24億7211万円で前年比2・5%増となっている。医療給付費・介護給付費ともに、今後は更に増えることが予想される。

また、本市の予算の3分の1は民生関係に使われている。このままでは確実に2分の1に向かってしまう。鍋木は4分の1、5分の1に減らそうと取り組んでいる。市長は医療・介護分野

への税金負担を真剣に減らす方向に取り組み、耳を傾ける気持ちはあるか。

○ 別の質問  
策への取り組み姿勢について



▲啓発ポスター

問 中学生までが医療費無料化になったが、市の負担の変化は。

民生部長 10月から無料化となり、月締めの2ヶ月後にならないとはつきりしない。今後、医療費負担は増えていくと予想される。

問 近年の生活習慣病患者の実態と今後については。

民生部長 国民健康保険の被保険者1万8124人(平成20年5月)でのデータだが、受診率73・14%のうち、生活習慣病患者は33・24%。悪性新生物(がん)患者が320人、糖尿病患者が675人、高血圧性疾

## Q 陳情道路の早期整備を

### A 路線ごとに調査し、予算化2年で完成する

常見 詔子 議員



問 生活道路の苦情は。 都市建設部長 今年の4月から11月までの8ヶ月で笠

懸町から171件・大間々町109件・東町12件の合計292件の苦情があった。

問 春と秋の道路愛護時の苦情も毎回同じ道路への補修が繰り返されているが。

都市建設部長 簡易補修で長持ちしない。

問 道路補修の維持管理費は年間いくらになるか。

都市建設部長 今年度は全体で4500万円、業者委

託では1430万円だ。問 舗装してほしいという陳情道路の状況は。

都市建設部長 幹線道路や市が政策的に整備を進める道路以外で、地元区長を通じて所有者の協力、同意の上で提出された道路を陳情

道路という。合併以前の笠懸町40件、東村1件だ。合併してからは平成18年11件、19年21件、20年8件、21年

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



須藤 健久 議員

## Q 大間々町「まちうち再生総合支援事業」の進ちよく状況は A 市街地の活性化プランの策定にむけて調査中である

**問** 大間々町の中心市街地の三丁目・四丁目の有志によって「三方良しの会」が立ち上がった。  
その地域住民とみどり市の連携で実施されている「まちうち再生総合支援事業」の進ちよく状況と今後の方向性は。

**市長公室長** その地域にある古い財産を情報交換の交流拠点とし、観光客が憩える場として活用したいとの要望があり、県の単年度補助事業を利用し、業者にその調査を委託している。  
この調査結果をひとつの材料として、市街地活性化

**市長** まちづくりの整備手法について、お金をかければ良いと言うものではない。その地域に残る歴史や文化などを地域住民が理解して誇りに思うことが大切だ。



▲大間々商店街

は15件と全部で96件になる。  
**問** 合併後、何本の陳情道路ができたのか。費用は。  
**都市建設部長** 平成19年度11本で約4055万円、20年度は9本で約2535万円。合併以前の陳情道路は6本整備完了、8本が継続中。合併後の陳情道路は9本整備完了、6本が継続中になっている。

**問** なかなか陳情道路がでない理由は。  
**都市建設部長** 幹線道路等政策道路が優先される。又、予算や人的確保も必要だ。  
**問** 今のペースでは陳情道路は増えるばかりで、順番がきた時は地権者の状況も変わっている。現在の陳情道路の全部を調査し、早急に整備できる体制を。  
**都市建設部長** 今のやり方ではできない。路線ごとに調査し、予算化された後に、遅くも2年間で完成させた。そのためにはよく精査し、財政とも協議したい。

**問** 陳情道路すべての状況を精査し、担当委員会に報告してほしい。  
**都市建設部長** 陳情道路については、陳情提出の区長と委員会に報告したい。



▲笠懸町6区の陳情道路

**問** 陳情道路すべての状況を精査し、担当委員会に報告してほしい。  
**都市建設部長** 陳情道路については、陳情提出の区長と委員会に報告したい。

プランの策定に向けて検討する。  
この調査事業の対象の中に若干、地元で行う事業なども組み入れることが条件となっている。  
その事業として、130年経った常夜灯を本町通りに戻し、地域の歴史を振り返るシンボルとし、地域住民の意識を高める。  
本事業は、ソフトが中心で調査結果によってハード部門も取り入れる。  
**都市建設部長** ハード部門については、市街地活性化の事業で目的が明確であれば、都市計画サイドの補助制度である「まちづくり交付金」を利用するこの制度は、中心市街地の整備について幅広い分野で、様々な用途に活用できるので都市計画の立場から協力する。  
**問** まちづくりのあり方について。  
**市長** まちづくりの整備手法について、お金をかければ良いと言うものではない。その地域に残る歴史や文化などを地域住民が理解して誇りに思うことが大切だ。

# Q 救急医療情報を記入したキットの配布を

## A どのような形が望ましいか検討し啓発に努めたい

高草木 良江 議員



**問** 現在、本市において災害時に援護が必要な人は。  
**民生部長** 65歳以上の単身世帯や要介護3、4、5の方、身体障害者等対象者は約7000人で現在、民生委員が調査中である。

**問** 災害時に迅速、有効に支援ができるよう災害時要援護者台帳の作成が進められているが、同時に緊急の連絡先・かかりつけ医や持病、常用薬等の医療情報を記入した救急医療情報キットを配布してはどうか。  
**民生部長** 今後、災害時要援護者台帳を作成した段階で、どのような形がのぞま

しいのか、利用しやすいのか十分検討した中で統一見解を出して啓発に努めたい。  
**地域福祉権利擁護事業の設置について**  
**問** 判断能力が十分でない方や、寝たきりの高齢者、身体障害などで権利や主張や行使が困難な方々のために市内に設置できないか。  
**民生部長** 12市のうち、みどり市だけがまだ位置づけられていない。現在、みどり市では桐生市社会福祉協議会へ依頼して対応しているが、抱えるケースなどが多く不十分さが出てきている。平成22年度は、前向きに検討していきたい。  
**ごみの減量化について**  
**問** ごみ処理委託事業のよ

うな広域事業は今後、両市の広域調整室の中でも、経費削減のための協議等を行うべきではないか。  
**市長公室長** 事業でかかった経費の応分負担をしている。できる限り色々な面で協議はしていきたい。  
**その他**  
**問** がん検診の受診率向上にはどのような対策があるか。  
**民生部長** 平成22年度から個別検診等も導入をしたい。  
**問** 無料クーポン券を本市

にどのような対策があるか。  
**民生部長** 大切な資源であるという啓発をしていきたい。  
**問** ごみ袋に企業広告を掲載して財源確保してはどうか。  
**民生部長** 大切な資源であるという啓発をしていきたい。

# Q 財政の中期・長期的見通しは

## A 交付税が10億円減額になる

伊藤 正雄 議員



**問** 市が健全財政であり続ける議論をしたい。自治体財政健全化法が20

07年6月に制定された。制度の枠組みは、4つの財政指標であり、実質赤字比率・連結赤字比率・実質公債比率・将来負担率であり、実質公債比率・将来負担率、どちらも新しく導入された。これからは一般会計だけでなく、公営企業会計などの赤字や負債を認識し、将来的な地方債残高を問題にした指標だった。現

状認識は。  
**総務部長** 現在までの財政数値については、経常収支比率を除くとバランスの取れた財政数値となっていると思うが、財政規模が小さいため大型事業の取り組みや急激な予算増の影響を受けやすい財政構造だ。今後の見通しは合併特例債事業を活用した大型事業（小中学校耐震事業、大間々学校



▲救急医療情報キット

民生部長 検討していきたい。

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



新井 巖雄 議員

# Q 笠懸幼稚園を公立として残すべきと思うが A 公立1園は残したい

## 補助金審議会答申書

問 補助金審議会答申書で、多くの補助金を縮小との方向が示された。社会教育団体などは子ども達のため、文化・スポーツ振興や伝統保存活動などに汗をかくてくれている。補助金を「むだだから減らせ」とい

う方向なら「何もおごごとをしてやることはない」という空気が生まれてはこまる。これらの市民活動が衰退すれば地域の活力が失われてしまうと思うが。  
市長 補助金が不必要な団体はないと思うが、社会状況の変化の中で見直し、再

給食センター新築移転事業（）が予定されているため、起債関係が上昇すると見込まれ、起債の借入については、公債費（償還額）は決算額の10%以内になるよう計画的に進めたい。  
問 合併10年で地方交付税が算定替えになると言うが、説明してほしい。  
総務部長 本来減額されるべき交付税が、合併により10年間猶予<sup>ゆうよ</sup>されてきたが、平成28年から5年間かけ、9億7000万円減額される。

問 これに対する財政計画は。市長公室長 行財政改革・集中改革プランに取り組み、職員の減員、幼稚園・保育園・学校給食等、民間に移せるものは民間に移したい。また行政評価システムを導入して事業の効率化と合わせて、職員の意識改革を進めるなかから、出来る限り財政改革に取り組みたいと思う。  
問 まだ期間はあるが、職員全体での共通認識ができていない。注意をしたい。  
総務部長 今後、全庁一体で取り組み、各団体・地域



▲大間々学校給食センター

に財政状況の説明会を開催して、市全体の意識にしたいと思っている。皆様のご協力をお願いしたい。

点検をする良い機会になればと思う。改善する必要があるかもしれないが、一律でなくメリハリをつけたい。最終的には私が政策として決定したい。

## 笠懸幼稚園3才児保育

問 平成22年度から3才児保育を行うことになったが、笠懸を公立として残すか、民営化するのか。公立1園は残すべきと思うが。  
教育長 幼児期は人間形成の基盤を作る大切な時期だ。幼稚園から中学校までの連続した教育の充実も図りたいと思うので、ぜひとも公立1園は残したい。

問 3才児保育は、当初の予想を上まわる応募があったようだが人数とクラスの数はどうなるのか。  
教育部長 応募者68名で3クラス編成となる。

問 職員体制や新規採用は。  
教育部長 3才児には複数体制でのぞむ。新規採用は2名予定している。  
教育庁舎と大間々公民館

問 水道局と教育委員会を入れ替える方向となったが、移動計画は。



▲笠懸幼稚園

教育部長 できるだけ経費はかけずに、教育部3課と教育研究所、青少年センターを移動させる。公民館は大間々図書館の2階を有効活用したい。  
問 教育委員会といっしょに公民館は現在の水道庁舎に移動させるべきと思うが。  
教育部長 公民館等として利用した場合、駐車台数がきわめて少なくエレベーターもない。当面は最少の経費で考えたい。  
新井 図書館も駐車場は狭い。時間制限もあるのであらためて議論したい。

# Q ゴミが少ないまちづくりの実現は A 身近なことから取り組む

上岡 克己 議員



アンケートでは、最も関心があるのが、不法投棄と聞いているが。

**市長公室長** 鹿田山の林道に古い家財道具が捨てられている。マナーやモラルの向上が最重要課題で市民への啓発が大切であると考えている。

**問** 子ども達にどのような環境教育をしているのか。  
**教育長** 各学校や地域にあった体験学習的な環境教育を推進している。

**問** 体験的環境教育とは。  
**教育長** 教科にはないけれど、発達段階に応じた環境学習を行っている。多くの学校が花づくりに取り組み、また、昨年からは、緑のカーテン事業などを行っている。

**問** 環境への取り組みが、わかるような小・中学生向けの小冊子をつくる考えはないか。  
**教育長** 啓発資料を計画の

**問** 環境基本計画が来年3月に策定されるが目ざすものは。  
**市長公室長** 安全で安心して生活できるまちづくりを進めるため、ゴミ発生抑制やリサイクルなどによる循環型社会の創造と身近な自然環境の保全に努めることである。

**問** 重点的にどんな取り組みを考えているか。  
**市長公室長** みどりの里づくり、ゴミが少ないまちづくり、花と緑に囲まれたまちづくり、みんなで育む環境まちづくりである。

**問** 前笠懸道路、鹿交差点の西800mが凍結候補になったと聞く。今後、市の



大澤 映男 議員

完成を待って、つくっていく。  
**問** 今までのことを聞きながら市民への啓発や感想はどうか。  
**市長** 環境は、間口も広いし、奥行きも広い。市民への啓発は推し進めていくが、最終的には、我々一人一人

が身近なことから取り組むことが肝要と考えている。個人がモラルを守り、その意識を高めることが行政の役目と考えている。また、地道に市民の皆様にアピールしていくのが一番近道と思っている。

## Q どうなる国道50号 A 今は推移を見守っている

対策としてはどう考えているのか。  
**都市建設部長** 国土交通省でも予算編成中であり、今は推移を見守っている。

**問** 県道大間々・尾島線の幅員拡幅同時着工の予定はどうなるのか。  
**都市建設部長** 鹿交差点から4〜500mは今年度で予算化され、現在執行中。調査・測量等も進行中で、

**問** 鹿交差点は道路改良に向けて進めてもらえると思っている。  
**問** 期成同盟はどんな活動をしているのか。  
**市長** 国道50号の期成同盟は桐生市長が会長をし、11月にも前年を踏襲した形で陳情活動をしてきたが、今後についての詳細はまだ決まっていない。

**問** ぜひ市長に先頭に立ち



▲鹿田山付近の不法投棄

一般質問は、発言者の責任のもとに質問の主旨を掲載しています。



蓮 孝道 議員

## Q 市民への疾病アンケートで予防医療を効果的に A 実態に近い数値をつかむ努力をする

行動していただきたい。西  
部幹線アクセス道路の計画  
はどうなるのか。  
**都市建設部長** 県の整備プ  
ラン通り平成29年度までの  
予定には変更も見直しもな  
いと聞く。しかし、進ちょ  
く状況によっては、現道の  
50号に接続させておくのも  
考えに入れておかなければ  
ならない。  
**市長** 今後変わるかもしれ  
ないが、現段階で陳情後に  
予算がゼロから1億円にな  
った事は冷静に受け止めて  
いる。国のシステムが変わ  
ったことをきちんと理解し、

市長として市民の利益を考  
え言うべきことは言う。民  
意なら命を張ってでも守り  
抜く覚悟だ。  
**大澤** ぜひお願いしたい。  
**信号機の設置について**  
**問** 合併前の町議会で、次  
に信号を設置するのは阿左  
美、魚利さん西側が最優先  
と聞いていた。あの交差点  
は大変危険で事故に繋が  
っていると思うが、今だに  
設置されないのは何故か。  
**総務部長** 道交法に照らし、  
安全や円滑的な流れなどの  
総合観点から年間で県内約



▲国道50号鹿交差点

60基の設置と聞く。市でも  
再三要望はしているのだが。  
そのほかに、久宮の大島商  
事前、かさかけの里北交差  
点、東小の北東交差点の計  
4か所を要望中。  
**大澤** 早期設置を切望する。

**問** 高額療養費全体とがん  
治療費の内訳は。  
**民生部長** 平成20年度の保  
険療養費約34億2000万  
円中、高額療養費は約3億  
3000万円と約10%を占  
めている。診療費割合から  
推測すると、がんには37  
00万円が支払われている

と思われる。  
**問** 高額療養費申請時など  
を使ってアンケートを実施  
し、実態をつかみ、検診な  
どの予防医学をより効果的  
に実施することで、市民の  
健康と市財政の効率化をは  
かるべきではないか。  
**民生部長** 県の統計や社会

保険で実施している検診な  
どの機会も利用し実態に近  
い数値をつかみたい。  
**問** がんは早期発見できれ  
ばほとんどが根治すること  
ができると言われている。  
精神的、肉体的、経済的な  
多面でダメージが大きい  
女性特有のがんと若年者の  
がんについて、検診の状況  
を聞きたい。  
**民生部長** 女性の子宮がん  
は20歳から2歳間隔、乳が  
ん検診は、40歳から2歳間  
隔に実施し、受診率はいず  
れも約20%である。  
若年者には現在がん検診  
は行っていない。健康診断  
は20歳から2歳間隔で行い  
、併せて25歳と35歳にも実  
施している。受診率は約7  
・5%である。



▲乳がん子宮がん検診

受けることが望ましい。  
**民生部長** 胃、肺、大腸、  
乳の各がん検診の実施年齢  
を20歳まで引き下げた場合  
1360万円の予算が推計  
される。また人間ドックの  
助成対象を20歳まで引き下  
げた場合は約80万円程度の  
予算が推計される。  
**蓮** 比較的少ない予算で若  
年者に拡大できる検診もあ  
る。実施すべきだ。そして  
大切なことは受診率向上に  
努めていくことである。



東 町  
木村 厚介

## 高速ETC

### 割引制度の陰で

私は、大間々町の下神梅で飲食業を営んでおります。国道122号線沿いの場所で立地条件も良く県外からのお客様も多く来店します。最近、感じるのは、ニュースなどでETC割引1000円の影響により、道路が混雑しているとの報道がされています。

ETC割引が始まってからは、明らかに県外ナンバーの車が少なくなってきたと思います。大間々町から東町へ抜ける122号線は景観が良く、素晴らしい場所だと思います。是非、観光で訪れてみたいと思える場所作りをしていただけたらと願います。



笠懸町  
上村 征子

## 朗読ボランティアに参加して

10年程前から旧笠懸町社会福祉協議会で募集していた「朗読ボランティア」に参加しています。毎月発行される「広報みどり」や「議会だより」「社協だより」などを朗読、録音し、それを定期的に視覚障害者や図書館、社協の窓口等に置いて利用していただいています。

各自が割り付けられた箇所を自宅で熟読し、録音日に集まって録音、校正します。緊張の中にも作り上げる喜びを感じることが出来ます。高齢化の昨今、文章を読むのがめんどろに感じる方もおられるかと思いますが。そんな時には是非、こんなボランティアもあるんだと思いついて活用して欲しいと思っています。



大間々町  
板谷 愛子

## 大間々地区に公民館を

来年度から水道庁舎を教育庁舎として活用する方針が決定したようです。また、公民館は大間々図書館へということですが、町民の多くは厚生会館を公民館に願っていると思います。厚生会館は福祉の拠点ですが、設備は全く公民館そのもので、多くの団体が活用して現在に至っています。今後その状況は変わらなれないと思います。教育部長は議会で「水道庁舎は駐車場、エレベーターの問題があるが将来的には公民館として実現したい」と答弁しています。

駐車場も広く、町民が利用し続けている厚生会館を是非公民館に出来るよう格別の御配慮を御願致します。

## 編集後記

昨年、11月21日に開催される予定だった子ども議会が新型インフルエンザの流行のため延期されました。

市内小学生の中から、みどり市議会議員と同数の22人の子どもが選出されました。きつと残念だと思っっているのではないのでしょうか。

開催された時は、地域の子どもの代表として、みどり市への夢や提言を元気に、自信をもって発言する姿。夢や提言に対し、市長をはじめ教育長、執行部から心を込めた回答や助言で、緊張感のある厳粛な体験ができたものと思います。

新型インフルエンザの流行が収まり、福祉や教育のこと、街を元気にするため、産業の活性化をどうするかなど、有意義な子ども議会が早い時期に開催されることを期待します。

(上岡 克己)

## 次回定例会 (予定)

2月24日(水)から 午前9:30~

皆さんの傍聴をお待ちしています。  
問い合わせ ☎76-1970

## 編集委員

委員長	宮崎 武
副委員長	蓮 孝道
委員	上岡 克己
	山口 慶一
	常見 詔子
	新井 巖雄
	小内 信一
	鍋木 豊